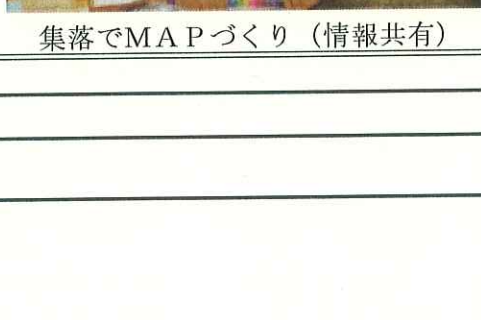
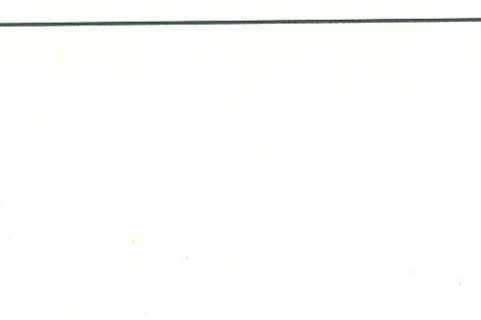


平成21年度 「新たな公」によるコミュニティ創生支援モデル事業

モデル事業名	限界集落緊急対策「命見守り ほっと安心」のモデル集落事業		
対象地域	香川県まんのう町		
対象地域の概要	限界集落 過疎地域の集落 廃屋 地域福祉 MAP		
まんのう町位置図			
集落数 298 民生委員 78 福祉委員 472 過疎・振興山村	人口 20,737 人 6,126 世帯 高齢化人口率 30.2% 一人暮らし高齢者 505 人 高齢者世帯 647 高齢者 6,141 人 後期高齢者 3,515 人 用介護高齢者率 17.45%		
提案内容の概要	限界集落の一人暮らしの安否を確認し、異変の早急な対応を行い、高齢者の命を守り、孤独死の防止を最優先の目的とする。 旧町単位に結成した「地域福祉推進委員会」が「モデル集落」を指定して、自治会長が主導して、民生委員の助言と指導により、集落の見守り活動を内容とする「命見守り協定」を締結し、それを背後支援するために、「ほっと安心委員」が公的な連携を図りながら、住民生活の安全と安心を保全する活動を行い、人的な見守り体制の整備後に、それを補完するためにＩＴ装置を活用する異変検知と「見守りセンサー」による駆けつけの体制を構築する調査と研究を行う。 人的な助け合いと装置の双方による、より強固な命見守り体制を探求する。 運用やその評価の基準を「モデル集落」に委ねて、多様な実践事例から個別の事情に反映した柔軟な手法の確立を図る。多様な主体が協働する理念として、持続可能な「柔らかな公」を探求する社会実験とし、集落を担い、地域福祉と関わる人材の発掘と新たな登用により、「新たな公」の構築を図る。		
提案する活動の内容 (1) 地域の課題	① 民生委員の受け持ち世帯が多く地域事情を掌握仕切れず、限界を来している。(79.7軒/人) ② 福祉委員は、役割の自覚が無く、活動が停滞気味である。 ③ 地域福祉推進委員会は、主軸事業の定立が求められている。 ④ 生活の安心と安全を担う公的機関は独立独歩であり、重複や隙間の点検は未着手である。 ⑤ 勤労者となった団塊の世代の退職者の地域社会への軟着陸の手法を構すべき時期にある。 ⑥ 自助、共助、公助の視点を啓発すべき協働の時代である。 ⑦ 個人情報保護法が曲解されて、地域福祉の活動の妨げとなっている。 ⑧ 自治会活動助成金の交付は削減されて、地域活動への支援手法の開拓が求められている。 ⑨ 町の総合計画が策定されて、安心で安全な生活への期待は大きい。		

(2) 活動内容の案	活動①: 命見守り研究会	
	内容: 運用する手法研究を行う。書式、評価、報告。	
	活動②: 地域福祉推進委員会	
	内容: 意識啓発と事業説明を行い、 モデル集落の指定を行う。	
	活動③: ほっと安心委員会	
	内容: 公的な背後支援と機構連携を行う。(会長 町長) まんのう町(防災 自治会 情報 民生 健康増進 包括支援センター 公民館 支所) 広域消防 消防団、警察署、社会福祉法人	
	活動④: 集落の「命見守り協定」の締結と 「見守り 声かけ」活動	
	内容: 事業申請、役員編成と「命見守り協定」の策定、「地域福祉MAP」の作成、見守り基準の策定、 見守り編成 要援助者(見守り対象)と見守り活動の合意形成、「声かけ」と「見守り」の日常 活動	
	活動⑤: 「南海地震」の被害調査	
	内容: モデル集落の活動報告として、試行する。	
応募団体名	社会福祉法人まんのう町社会福祉協議会	
リンク	http://www.manno-syakyo.jp/	
部局／担当者名	事務局長 竹林 昌秀	
連絡先	0877-77-2991 m-takebayashi@town.manno.lg.jp	
推薦市町村名	香川県まんのう町	

命見守り研究会

集落協定の相談

集落でMAPづくり(情報共有)